



議会だよい

第66号

平成30年6月発行

編集：議会広報委員会

発行：大和村議会

☎ 0997-57-2216(直)

FAX 0997-57-2967

〒894-3192 鹿児島県大島郡大和村大和浜100



元気よく一斉に走り出す2kmのスタート

大和村ジョギング大会が盛大に開催！

5月27日(日)に「第4回大和村ジョギング大会」が行われました。例年11月に行われる本大会は、「大和村施行110周年大会」開催のため、この日に行われました。昨年より32名多い115名の参加者が2km(83名) 4km(16名) 10km(16名)とそれぞれのコースにそれぞれのペースで楽しく汗を流していました。今大会は、宮崎県や佐賀県・奄美市など、村外からも約50名の参加者がありました。大会の締めは、奄美・鹿児島往復航空券などが当たる抽選会が行われ、賑わっていました。

主な内容

一般質問(4人)	2 ~ 5
平成30年度 当初予算可決	6
平成30年度 当初予算の主な事業費(一般・特別)	7
平成30年度 当予算審査特別委員長報告	7 ~ 10
大和村 平成30年度 予算に関する意見書	11
板橋区議会公明党議員団が本村の地域包括支援ケアを研修！	12
第1回定例会	13 ~ 15
議会の動き・編集後記	16

4名の議員が村政を問う!!

第1回定例会 一般質問

平成30年第1回定例会（3月）において、4名の議員が※一般質問を行い、臨時職員の待遇改善について。商工業の振興について。名音小学校特別教室解体後の使用について。野山羊対策について等に関する質問をしました。各議員の質問及び答弁要旨については次のとおりです。なお、質問及び答弁につきましては一部抜粋していますので、ご理解方よろしくお願い致します。また、編集方法は、各議員の裁量としておりますので、併せてご理解下さい。

※一般質問とは、議員が村の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針を聞き、疑問点を質すこと。本村議会の一般質問は、一人持ち時間60分です。（3月14日 本会議）

臨時職員の待遇改善について

（答弁）臨時職員の賃金単価については、他市町村と比較しても遜色ない単価となつていて。今後も賃金と合わせて福利厚生においても待遇改善を実施していきたい。

人口減少の歯止めとして、臨時職員の待遇改善は有効ではないか。



奥田忠廣 議員

金5,900円は改善の余地はないか。

（答弁）最低賃金は下回つてはいないが、決して十分な待遇であるとはいえない。今後、財政面等を考慮して改善の方法を検討していきたい。



EM菌の技術習得を早急に行い本村の農業に生かしていく施策を!

村営住宅への光ファイバー回線設置について

（答弁）本村独自に勤続年数等を考慮した臨時雇用賃金表となつていて。村営住宅入居者宅（集合住宅）へは、個々の設置になるのか。また、設置費用負担はどのようになるのか。

(答弁) 設置費用及び利用負担については、村営住宅も一戸建て住宅と同様に、業者と個人間の契約で行い、行政側は費用負担は行わない。

EM菌研究について

EM菌について所管事務調査を行つたが、本村農業に確実に利用するためには、沖縄へ専門的な知識を得るための人材派遣はできなか。

(答弁) 沖縄への人材派遣については、現在、人員面や実証検証面を考慮した結果、厳しいと考える。しかし、実証検証結果後、時期を見ながら、専門的な知識習得に向け、人材派遣について考えてみたい。

商工業の振興について

交流人口による村内の商店や飲食業の充実は必要不可欠だと思うが、具体的な対策を考えているのか。

(答弁) 商店や飲食店に対する対応は、元気度アップポイント事業により間接的な経済支援を行つていい。今後新たな支援策について、商工会大和支所と連携を行い、府内でも早いきたい。

急に協議を行つて行きたい。

観光振興について

観光客増加が期待される中で、村としても、対応や受け入れる体制・整備を進める上で、「人手不足」という懸念があるが、どのように考えているのか。

(答弁) 今後増加が予想される観光客の受け入れについては、NPO法人



前田清和議員

「TAMASU」と連携を図り、本村で体験できるメニューを商品化し、観光客受け入れに対応していきたい。



村内各商店の活性化対策は？





民 文 忠 議員

名音小学校 特別教室解体後の 使用について

(答弁) 解体後の広々となつた学校敷地の使用目的は何か。

(答弁) 敷地の利活用について、教育面や福祉面から必要性を判断して検討していきたい。

学校の見守りなども含めた学校管理者用の住

保育園児や児童生徒 罹患防止について

今年1月から2月にかけてインフルエンザが流行つたが、保護者達

宅などは造る計画はないか。

(答弁) 住宅の整備や老朽化が進む名音保育所の移転も含めて利活用方法を考えていきたい。



インフルエンザ罹患防止等の知識や対応策をどう知らせていくか

が子どもの熱が下がつたという理由で、完治したと勘違いをし、通園や通学をさせ、罹患するという状況が生じている。このような状況にならないように、保護者や先生へのイン

フルエンザについての周知や教育を徹底させるべきではないか。
(答弁) 防災無線でインフルエンザに対する注意喚起を行っているが、インフルエンザにかかるているか分からず通園・通

現在居住していない 人の家賃や税金はどうなつてているのか

現在、自己都合により

居住していない元住人の住宅家賃や税金はどうなつてているのか。また、このことに対する連帯保証人への説明などはどうなつてているのか。

(答弁) 居住者が直接退去届を提出するか、出せない場合は、本人の許可を得て退去扱いに出来る。また、連絡が取れない場

学しているのが現状である。今後、罹患が疑われる場合、可能な限り診察を受けさせ、正しい対応ができるよう各学校や各家庭へ周知徹底を行って行きたい。

合は、連帯保証人に退去届の手続きを取らせる。税金については免除や執行停止などは行わず、法律に従い徵収していきたい。

住宅申込みの解釈について

住宅の賃借について、賃借名義人以外の方が借りている住宅について、このような賃借形態でいいのか。

(答弁) 役場はあくまで、

入居者自らの申請により異動事実の把握を行つてある。そのため、村内住宅の全入居者に対し、異動が生じた場合の届け義務についてのさらなる周知徹底の強化をを図つていきたい。

(答弁) 現状の対策では、駆除頭数よりも繁殖頭数が上回り、野山羊の減少に結びついていない。抜本的な駆除の方法が必要

範囲が広がつてきている。大きな問題に取り上げられる前に、対策を取るべきではないか。

合同会社「ひらとみ」の運営方針について

である考え方で、今後環境省をはじめ、鹿児島県に強く要望を行い、奄美大島5市町村全体で駆除事業に取り組んでいくよう進めていきたい。



正 蔵 議員



早急なヤギ捕獲対策を!

臨時職員を雇用し管理させるとあるが、経営に意欲的な職員を派遣し、民間の感覚を養わせる必要があるのではないか。

(答弁) このことについて、責任者なるものが必

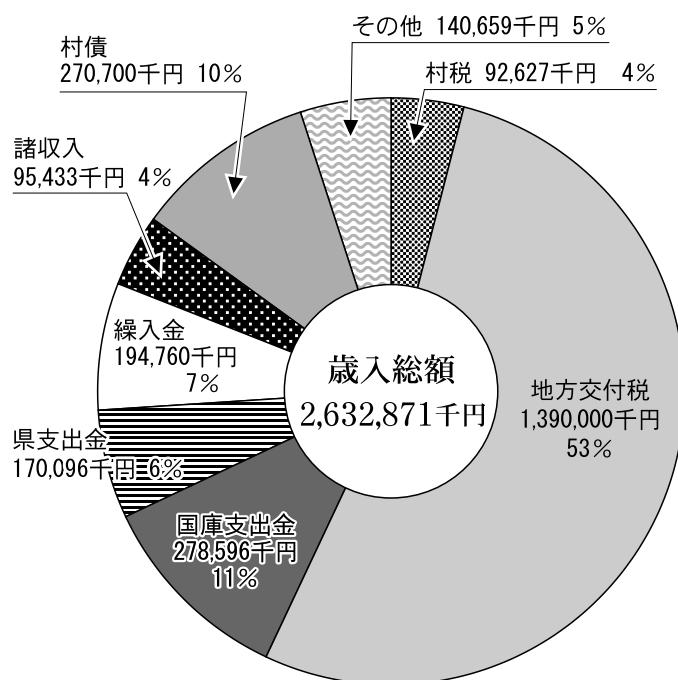
要不可欠と考えております。平成30年度からは、担当職員をしっかりと配置し、充実した組織運営を図り、組織の確立を重点目標に進めていきたい。

平成30年度 当初予算可決

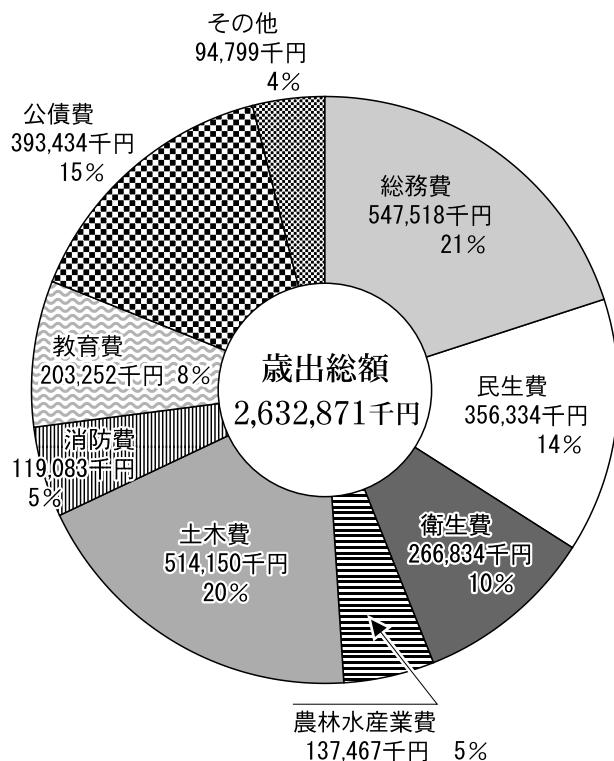
平成30年度の一般会計及び各特別会計予算は、予算審査特別委員会に付託され、最終本会議で予算審査特別委員長報告（7面に掲載）があり、各会計とも原案可決されました。

各会計の当初予算状況は次のとおりです。

平成30年度一般会計当初予算 歳入



平成30年度一般会計当初予算 歳出



【平成30年度各会計当初予算状況】

会 計 名	予 算 額	対前年度対比
一 般 会 計	26億3,287万1千円	407千円減
簡 易 水 道 特 別 会 計	7,623万9千円	437万7千円増
國 民 健 康 保 険 特 別 会 計	2億4,076万9千円	6,681万5千円減
大 和 診 療 所 特 別 会 計	8,328万2千円	276万6千円減
介 護 保 険 特 別 会 計	2億6,401万7千円	102万3千円減
大 和 の 園 特 別 会 計	1億7,908万4千円	810万2千円減
集 落 排 水 事 業 特 別 会 計	2億7,190万6千円	1,469万8千円増
後 期 高 齢 者 医 療 特 別 会 計	2,956万1千円	33万8千円増

平成30年度 当初予算の主な事業費（一般・特別）

- 社会資本整備総合交付金事業費
(大棚名音線改良・橋梁補修事業他) 2億8,980万円
- 村営住宅建設事業費（名音地区 木造1棟） 2,300万円
- 地域振興事業（水産加工施設整備） 3,780万円
- 光ブロードバンド整備負担金（戸内～今里） 7,200万円
- 東部地区農業集落排水事業費
(管路布設・大和浜地区) 8,209万円
- 中部地区農業集落排水事業費
(管路布設・処理施設処理槽) 8,669万円

平成30年度 予算審査特別委員長 蔵 正 報告

去る、3月6日の本会について
議において、本予算審査議案第8号
特別委員会に付託を受け平成30年度大和村介護
ました。
議案第4号
平成30年度大和村一般会計予算について
議案第5号
平成30年度大和村簡易水道事業特別会計予算
について
議案第6号
平成30年度大和村国民健康保険特別会計予算
について
議案第7号
平成30年度大和村大和診療所特別会計予算に
について
議案第11号
平成30年度大和村後期高齢者医療特別会計予算
について
以上、8件の当初予算

対策の拡充

5、子育て支援の推進

6、道路交通網、情報通信網、生活環境の整備促進

7、安全、安心な大和村づくり

8、委員会開始前の緊張した雰囲気



委員会開始前の緊張した雰囲気

一般会計及び各特別会計予算案の審査を行いました。

一般会計予算の審査は、15日前から16日の午前中にかけて行われました。

一般会計予算の審査は、村長の施政方針にある7項目の基本方針を基に質疑がされました。

緊急通報システムの利用状況と、周知について質疑があり、現在の利用者は5名で、30年度にシステムを改修した後に広報周知を行うとの答弁がありました。

最初に、海岸漂着油処理対策について、奄美市出身の発明家が開発した漂着ごみ処理に適した小型焼却炉（チリメーサー）の利用計画は無いかと質疑があり、現状の計画は無く、（チリメーサー）

の答弁がありました。

高齢者バス利用助成事業について、活発に利用する高齢者と利用しない高齢者がいるが、幅を持たせた利用法は考えられないかとの質疑があり、事業の全体枠内であれば

地域振興事業による水産業加工施設建設予定地の説明を受け、3月15日と16日の二日間において村長、副村長、教育長及び関係職員の出席を求め、

新規で定住される転入者に対して村の情報の提

供について質疑があり、現在各担当課から、転入者に対する提供情報を収集し「セット」づくりを進めているとの答弁がありました。

緊急通報システムの利用状況と、周知について質疑があり、現在の利用者は5名で、30年度にシステムを改修した後に広報周知を行うとの答弁がありました。

高齢者バス利用助成事業について、活発に利用する高齢者と利用しない高齢者がいるが、幅を持たせた利用法は考えられないかとの質疑があり、事業の全体枠内であれば

支障はないものと考えられ、検討の余地があるとの答弁がありました。

空き家改修事業について、村内の廃屋の所有者

について情報収集したうえで検討するとの答弁がありました。

新規で定住される転入者に対して村の情報の提

供について質疑があり、現在各担当課から、転入者に対する提供情報を収集し「セット」づくりを進めているとの答弁があ

りました。

議案について、審査内容と結果について報告いたします。

1、「行財政改革の推進」と結果について報告いた

2、農林水産業の振興による雇用創出と販路の確立による村の活性化

本村の平成30年度予算対策

3、観光振興による交流人口の拡大

本村の平成30年度予算編成については、村長の

施政方針にもあるように、

4、企業誘致と定住促進

に意向調査を行い、村へ

の土地建物提供希望者の物件に関して、村が優先

して解体処理及び村営住

宅建設に取り組む事で廃

屋問題の解決に繋がるの

ではないかと質疑があり、

懸案事項であり、意向調

査を実施するとの答弁が

ありました。

野ネコ対策についての質疑には、TNR事業実績は267匹、飼い猫の登録数は117匹で登録数は少ないと考えており、今後も周知を図つていくとの答弁がありました。

観光振興による交流人口の拡大について大型観光バスの駐車場及びUターン場所が少なく、イベントの集客が制限されいるとの質疑について、利用可能な用地取得について調査するとの答弁が

ありました。

フォレストポリスの水源については、濾過機は拡張されたが水源地については未だに水量の確保

について課題があり、別途ボーリング調査等を検討しているとの答弁があ

りました。

グランドゴルフ場内の外来種アカ木伐採計画に

について、利用者のくつろぎの空間となつており、

歴史のある木があるので伐採はしないで欲しいと

の意見があり、成熟期の

果実除去など、鳥による

外来種の拡散防止策を検討し伐採はしない方向で

休憩を挟んで16日の午後から、各特別会計予算についての審査を一括で行いました。

「介護保険特別会計」において、介護保険料の動向について、4980円の保険料が300円ほど上がり5200円程度

る設備についても未定である点について、漁業者を中心に施設の利用が想定される方々の意見を収集するよう提案があり、今後その機会を創るとの答弁がありました。

光ケーブルの各集落公民館への引き込みについて質疑があり、当局から各集落において公民館における光通信網の利用計画が無い中での対応は時期尚早であり、事務嘱託員会等で意見を聴取するとの答弁がありました。

「集落排水事業特別会計」においては、大和浜集落内の実施状況について、迂回路の案内が不十

どのことでした。

「集落排水事業特別会計」においては、大和浜集落内の実施状況について、迂回路の案内が不十分のことでした。

なる見通しで、大島郡内では1番低い金額であり、計画策定の段階で住民への配慮が欠けていないかとの質疑があり、結果として不便をきたしているので、今後十分注意するとの答弁がありました。



新年度予算について当局に問う！

な問題でもあるので現状は厳しい状況であるが、他に何らかの対策は取れないか関係機関と協議するとの答弁がありました。

「大和の園特別会計」において、利用者減による問題もあるので現状は厳しい状況であるが、他に何らかの対策は取れないか関係機関と協議するとの答弁がありました。

また、生活保護受給者の加入について質疑があり、村の助成金等が受給者の収入とみなされる事で、下水道加入に躊躇している現状があり、法的

その結果、どの特別会計においても討論はなく、採決の結果、全特別会計ともに、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上のとおり、予算審査特別委員会に付託を受けました、平成30年度大



多角的な質問が出た予算審査特別委員会

り2000万円の赤字の状況にあるが、対策は無いかとの質疑があり、要介護度1、2の待機者がいるが、特別許可の判定を安易に出来ない様々な理由があり対応に苦慮している。ショートステイの利用拡大や村外の施設利用者に声をかけるなどの周知活動を行つてゐるとの答弁がありました。

和村一般会計予算を含む、
8件の予算については、
原案のとおり可決すべき
ものと決定いたしました
ので、報告いたします。

最後に、当委員会では、
委員長の報告と併せまし
て、議会の意見を次のと
おり取りまとめていきます
ので、意見書として取り
上げて頂くよう申し上げ
まして平成30年度予算審
査特別委員会の委員長報
告を終わります。



議会を傍聴しましょう

議会の定例会は年4回(3月、6月、9月、12月)行われます。お問い合わせ先 **☎57-2216**(直通)

大和村 平成30年度 予算に関する意見書

1. 海岸漂着油及び漂着ゴミの処理に有効と思われる小型焼却炉（チリメーサー）の情報を収集し、試験的に燃焼作業を実施して効果を検証して頂きたい。
2. 村内の廃屋所有者の意向調査を早急に実施し、有効活用できそうな物件から、解体撤去を行い景観の維持及び村営住宅としての利用促進を図って頂きたい。
3. フォレストポリス水源地の課題については、ボーリング調査等の結果を鑑みながら、確実に水量が確保できる方策をとって頂きたい。
4. 公園内のアカ木は伐採しない意向であるが、拡散を危惧する近隣農家の不安解消に向け、防鳥網の設置など拡散防止対策を講じて頂きたい。
5. 水産加工施設建設については、工事着手前に、漁業者等の利用予定者と具体的な加工内容、販路の確保及び導入する設備について、十分な協議を行って頂きたい。
6. 集落排水事業において、集落内の工事においても交通の妨げになる箇所については、交通誘導員の配置を行って頂きたい。
また、加入率向上のためにも、諸課題により加入が困難な状況にある生活保護受給者世帯も加入しやすくなるような方策を講じて頂きたい。
7. 大和の園の有効利用について、村内外への広報を充実させ空き病床の解除につとめて頂きたい。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出致します。

平成30年3月20日

大和村長 伊集院 幼 殿

大和村議会議長 勝山 浩平

板橋区議会 公明党議員団が 本村の地域包括支援ケアを研修！

行政及び議会と日頃から交流のある板橋区ですが、3月29日に、板橋区公明党議員団6名が、板橋区の福祉向上のため「地域包括支援ケアシステム」を研修に来村いたしました。

研修では、保健福祉課の保健師、早川理恵主幹が、大和村が取り組んでいる地域包括支援ケアについて、色々な角度から丁寧に説明されました。

板橋区の議会議員からは、「本当に素晴らしい研修になりました！今日研修した大和村の取り組み活動をぜひ参考にさせていただきます！板橋区に持ち帰って生かしていきます！」という一言で、大和村の活動を心から素晴らしい取り組みであるということを感じました。



大和村の概要について聴く議員のみなさん



本村の取り組み活動について真剣に聴く議員のみなさん

研修後、議員団は、まほろば館を訪れ、毎週木曜日に行っている、大棚「結の会」の地域支え合い活動の一環である「おかず作り」も視察されました。これから本議会としましても、板橋区及び板橋区議会との交流をさらに深めていきたいと思います。

●平成29年度 後期高齢者医療特別会計補正予算 (第3号補正)

補正額
74万6千円 減額
予算総額
3038万1千円

●大和村職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正

(改正内容)

この条例は、村職員の給与に関する条例の規定に基づき、著しく危険、不快な勤務の特殊性により手当を支給しております。

(補正内容) 島入においては、一般会計繰入金の減額、歳出においては、予備費の減額を行いました。主な補正是次の通りとなっています。

(歳 入)
○一般会計繰入金
74万6千円減

(歳 出)
○予備費
74万7千円減

●大和村職員の分限に関する手続き及び効果に関する条例の一部改正

(改正内容)

この条例は、平成28年年度より地方公務員に係る制度改革に伴い、人事

●大和村行政手続き条例

この条例は、行政手続法を引用するにあたり、条項のずれがあり第1条

評価による人事管理を基礎とする事が義務づけられ、本村でも制度の運用を行っている。印字管理の明確化を図るための改正です。

条項のずれがあり第1条を改正するものです。

●大和村課設置条例等の一部改正

(改正内容)

この条例は、企画行政事務については総務企画課、商工・観光業務については産業振興課がおなつており、世界遺産登録関係及び地域振興計画並びに次期奄振の法延長等今後更なる地域振興を図るため、一つの課で効率的に業務を行うため企画観光課を設置するもの

●大和村行政手続き条例の一部改正

この条例は、新たに定住促進住宅の名称及び位置等を設定する事と、今回新築された独身、単身者向け住宅の入居条件を定めたための改正です。

●大和村観光公園施設等の設置及び管理に関する条例の一部改正

(改正内容)

この条例は、公園等の管理について指定管理者への管理期間を2年から3年に延長し、パターヨルフ場を削除する改正です。

●大和村定住促進住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正

(改正内容)

この条例は、津名久地区に定住促進住宅建設に

●大和村国民健康保険条例の一部改正

(改正内容)

この条例は、国民健康保険法の一部改正に伴い、文言の追加修正を行うもので、また、葬祭費を

議会の動き

平成
30
年
1月

- 4日 大和村成人式（防災センター・議員）
- 4日 大和村消防出初め式（大和校・議員）
- 11日 全員協議会（議員控室・議員）
- 10日 公明党奄美ティダ委員会・新春政経懇話会（奄美市・議長）
- 7日 大島本島南部議会連絡会（奄美市・議長・副議長）
- 11日 まほろばウォーキング大会（フォレストボリス・議員）
- 30日 議員研修会（鹿児島市・議員）

2月

- 14日 第36回南部町村議会議員大会（大和村・議員）
- 14日 県町村議会議長会定期総会（鹿児島市・議長）
- 21日 県離島離島振興町村議会議長会定期総会（鹿児島市・議長）
- 21日 県町村監査委員協議会定期総会等（鹿児島市・議選監査委員）
- 23日 議会運営委員会（議員控室・運営委員）
- 26日 公民館講座閉講式（防災センター・議長）
- 27日 大島地区衛生組合議会定例会（奄美市・奥田議員）
- 27日 大島地区消防組合議会定例会（奄美市・前田議員）
- 27日 大島地区介護保険一部事務組合定例会（奄美市・重信議員）
- 27日 大島農業共済事務組合定例会（奄美市・藏議員）
- 27日 市町村議會議長会（奄美市・議長）
- 27日 市町村議長合同会（奄美市・議長）
- 27日 奄美群島広域事務組合議会定例会（奄美市・議長）

3月

- 28日 大和村議会第1回定例会開会
- 22日 予算審査特別委員会現地調査
- 20日 大和中学校卒業式（議員）
- 17日 定例会（一般質問4名）
- 16日 予算審査特別委員会（一般会計）
- 14日 予算審査特別委員会（一般会計・特別会計）
- 13日 定例会最終本会議
- 6日 村内小学校卒業式（議員）
- 2日 東京都板橋区議会公明党議員団歓迎会（防災センター・議員）



奄美地方も梅雨入りし、はや1ヶ月が過ぎました。毎日雨続きで、梅雨らしくなってきました。このようにジメジメとした過ごしにくい日がしばらく続きそうですが、みなさまにおかれましてはいかがお過ごしでしょうか。何かしら暑さ対策をされていると思いますが、良い知恵をいただきたいものです。

日本は他の国と比べてみても、春夏秋冬、四季折々いろいろな生活が楽しめる数少ない恵まれた国もあります。私たちも、暑いこの時期だからこそ楽しめる、貴重な体験を工夫して見つけていきたいものです。

編集後記

広報委員長 民文忠
広報委員 藏正
〃 〃 池田幸一 到到